



2021 年 10 月 31 日

森と海の自然科活動「報告」 テーマ「里川」 担当：A グループ

布引の滝・神戸市布引水道施設・竹中大工道具館を訪ねる

日 時 2021 年 10 月 28 日（木）晴

集 合 10 時 30 分 神戸市営地下鉄「新神戸駅」北改札口

参加者 16 人

主な行程：北改札口より布引川に沿い、いくつもの歌碑がある急な坂と階段状の散策路登る⇒布引の滝⇒続く坂道を五本松堰堤へ（昼食）⇒同じ道を下山。竹中大工道具館へ⇒15 時 新神戸駅前で解散。

出発してすぐ新幹線ガード下をくぐると早速第一のポイントへ。

新神戸駅の下に諏訪山断層が通っているため地震が発生して断層が動いても破壊されない構造にしていると。想像力を発揮して駅の地下構造とコンクリートの柱を眺める。

少し歩くと砂橋（いさごばし）の欄干に取りついたような歌碑に出会う。ここから歌について福島さんの詳しい話が始まる。この先、布引の滝までいくつかの滝と十数の歌碑に出会う。

布引の滝前で記念撮影。この滝が平安の時代より人々に愛されてきたと知ってさらに感慨深いものを感じる。

見晴らし展望台で小休止して五本松堰堤へ。ここで昼食。

休憩後下山。新幹線を通り過ぎて竹中大工資料館へ。

ここは清潔感のある和風の展示場の中に数々の道具類、そして、その時代の建築物のモデルを分かりやすく展示してある。動力のない時代の人の知恵とセンスがしのばれる。



最初に出会った歌碑



歌碑の説明を聞く



六甲山を構成する御影石の説明
ヌノビキカコウセンリョクガンと・・・



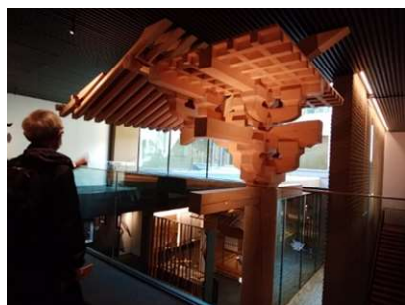
布引貯水池・五本松堰堤の記念碑と



布引の滝を背景に



ビルの間に直線状に流れる新生田川を望む



館内展示物の一端



竹中大工道具館の出入り口で